

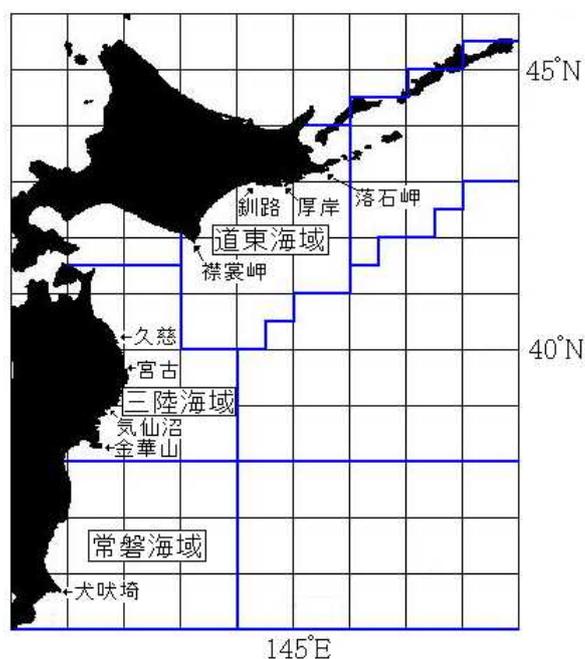
## 2021年度 第8回サンマ中短期漁況予報

－ 別表の水産関係機関が検討し一般社団法人漁業情報サービスセンターがとりまとめた結果 －

### 今後の見通し(2021年11月下旬～12月下旬)のポイント

#### 来遊量

- ・道東海域は終漁。
- ・三陸海域では、11月下旬の来遊量は低位水準である。
- ・常磐海域では、11月下旬は断続的な来遊がある。



海域の名称

### 問い合わせ先

一般社団法人漁業情報サービスセンター 水産情報部  
担当：渡邊、藤井  
電話：03-5547-6889、ファックス：03-5547-6881  
当資料のホームページ掲載先URL  
<http://www.jafic.or.jp/information/category/news/>

## 2021年度 第8回サンマ中短期漁況予報

### 1. 今後の見通し

予測期間：2021年11月下旬から12月下旬までの旬別

対象海域：道東海域、三陸海域、常磐海域

対象漁業：さんま棒受網漁業

対象魚群：南下回遊群

#### 1) 道東海域

##### (1) 来遊量

来遊量は少なく、終漁。魚群の多くは、道東海域よりも南側を南下する。

##### (2) 漁場

漁場は形成されない。

#### 2) 三陸海域

##### (1) 来遊量

11月下旬～12月上旬は、低位水準で推移する。12月中旬は断続的な来遊量となり、終漁となる。来遊量は、前年同様少ない。魚群の多くは、三陸海域の沖合を南下する。

##### (2) 漁場

11月下旬は、三陸海域に漁場が形成される可能性があるが、漁場は三陸沿岸から離れた沖合となる。12月上旬～12月中旬は、三陸南部に漁場が形成される。12月下旬は、漁場は形成されない。

#### 3) 常磐海域

##### (1) 来遊量

11月下旬は断続的な来遊があり、12月上旬は低位水準で推移する。12月中旬は、断続的な来遊量となり、終漁となる。

##### (2) 漁場

11月下旬～12月中旬は、常磐北部に漁場が形成される。12月下旬は、漁場は形成されない。

### 2. 予測の概要

海 域		11月下旬	12月上旬	12月中旬	12月下旬
道東海域	来遊量				
	動向				
	漁 場				
三陸海域	来遊量	————→	————→	———→	
	動向	低位水準	低位水準	断続的	
	漁 場	三陸沖合	三陸南部	三陸南部	
常磐海域	来遊量	———→	————→	———→	
	動向	断続的	低位水準	断続的	
	漁 場	常磐北部	常磐北部	常磐北部	

### 3. 漁況の経過概要（11月上旬）

#### 1) 道東海域

##### (1) 来遊量

今年は、前年同様、道東海域に漁場は形成されず、道東海域における来遊量は極めて少ない。

主漁場は、道東海域より東側の公海であった。道東海域より東側の公海におけるCPUE（1網あたりの漁獲量）は10月下旬並みであり、前年を下回った。これらのことから、引き続き魚群は道東海域よりもさらに沖合に分布しており、一部の魚群は道東海域の南南東側に分布している状況であるが、分布量はかなり少ない状況である。

##### (2) 漁場

道東海域に漁場は形成されなかった。主漁場は道東海域より東側の公海である落石東南東250～280海里、落石東380～510海里であった。

落石東南東250～280海里的漁場水温12～16℃では、大型船数隻～15隻程度と小型船が操業。大型船で最高3トン、平均1.1トン漁獲した。

落石東380～510海里的漁場水温11～15℃では、大型船10～50隻程度と小型船数隻操業。大型船で最高56トン、平均12.4トン漁獲した。

##### (3) 魚体

道東海域よりも東側の落石東南東250～280海里では、体長29～30cmモードと25cmモード、体重は110～130g台と60g台が主体であった。落石東380～510海里では、体長29～31cmモード、体重は110～140g台が主体であった。

#### 2) 三陸海域

##### (1) 来遊量

今年は、前年同様、三陸海域に漁場は形成されず、三陸海域における来遊量は極めて少ない。

三陸海域の東側である久慈東240海里（落石南南東220海里）には、一時的に漁場が形成された。

##### (2) 漁場

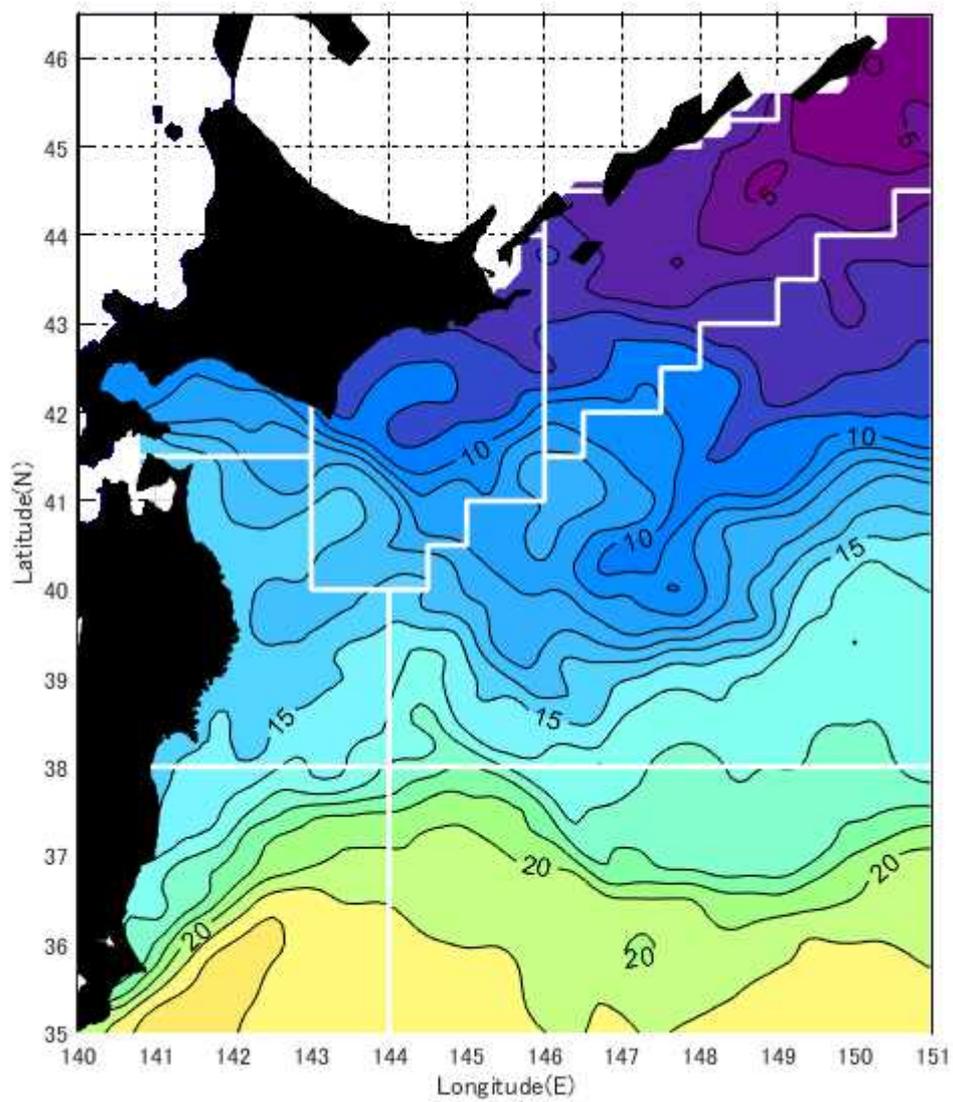
三陸海域に漁場は形成されなかった。三陸海域の東側である久慈東240海里的漁場水温15℃では、11月6～7日夜に小型船が数隻操業し、1トン前後漁獲した。

##### (3) 魚体

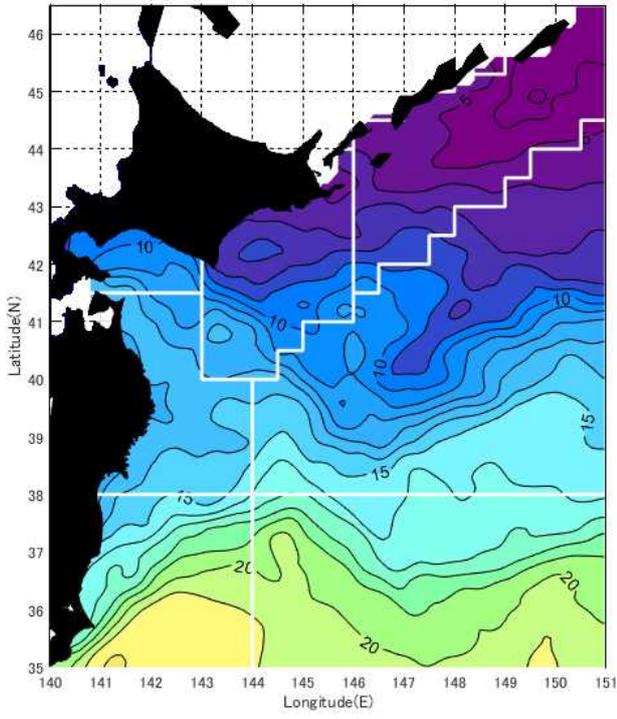
三陸海域の東側である久慈東240海里では、体長29～30cmモード、体重は100～120g台が主体であった。

#### 4. 予測水温分布図

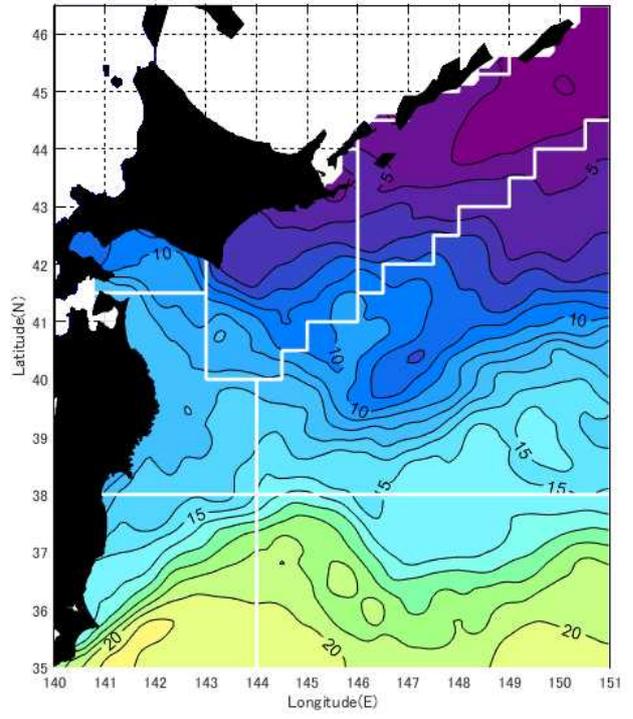
11月下旬予測表面水温分布図



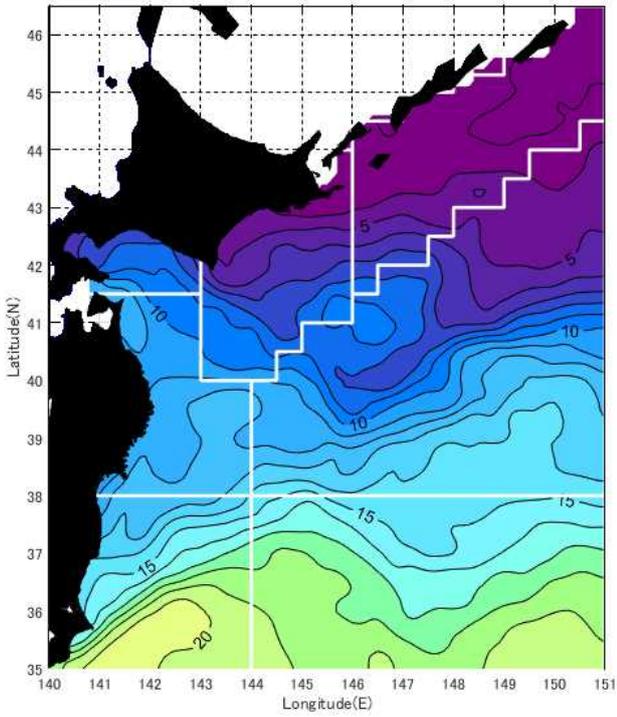
12月上旬予測表面水温分布図



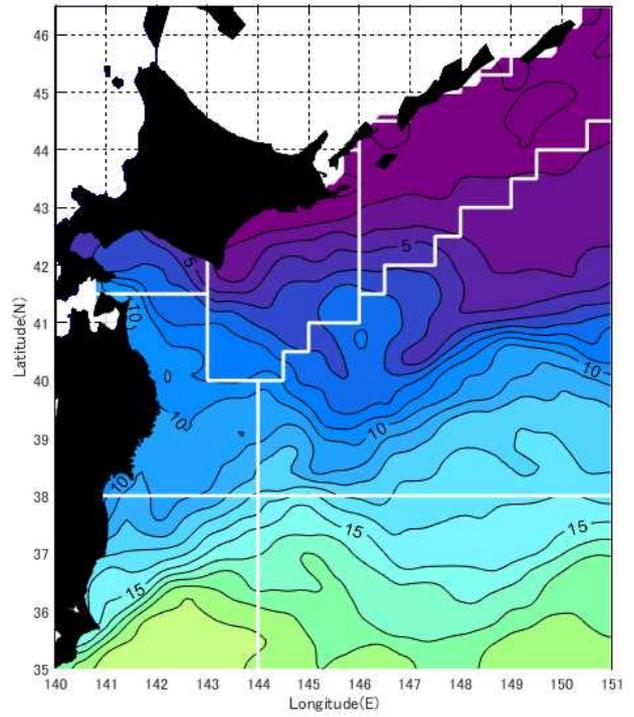
12月中旬予測表面水温分布図



12月下旬予測表面水温分布図



1月上旬予測表面水温分布図



## 参 画 機 関

<p>地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 水産研究本部 釧路水産試験場</p> <p>岩手県水産技術センター</p> <p>宮城県水産技術総合センター</p> <p>福島県水産海洋研究センター</p>	<p>茨城県水産試験場</p> <p>千葉県水産総合研究センター</p> <p>国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産資源研究所</p> <p>(取りまとめ機関) 一般社団法人 漁業情報サービスセンター</p>
--	---